

Intellex+

2026年5月期中間報告書

2025.6 – 2025.11



In+elleX

株式会社 インテリックスホールディングス

証券コード：463A



インテリックス ホールディングスが始動。

中期経営計画のもと、 リノベーション・インフラ企業 として業界をけん引。

代表取締役社長 俊成誠司

刷新 ホールディングスによってシナジーを創出

当社は昨年12月1日に、株式会社インテリックスホールディングスとして東京証券取引所スタンダード市場に上場しました。ホールディングス化の狙いは、各事業の採算性強化や選択と集中を含めた事業ポートフォリオの最適化、成長投資などの経営の意思決定を迅速に行うためです。

当社グループは創業から30年が経ちますが、物件を仕入れて販売するフロービジネスが主軸でした。しかし、足元ではカス

タマーサービスから次の仕入れにつなげていくストックビジネスを重視しています。どちらも成長の加速にはイノベーションが不可欠であり、ITテクノロジー、施工技術開発、新たな不動産金融モデルの創出に注力していきます。持株会社のもとにこの3つの分野が『三位一体』となり、傘下の各社がシナジーを生み出すことで、不動産流通を支える「リノベーション・インフラ企業」として、業界における唯一無二の存在を目指します。

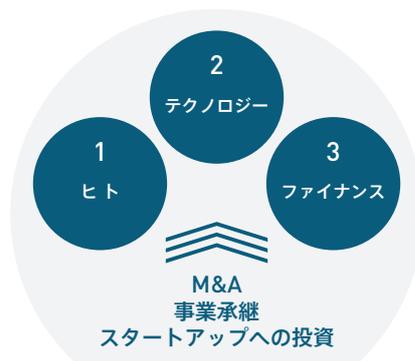


計画 中期経営計画「Renovation Forward 31」を策定

ホールディングス化によってグループの成長を加速させていくために、2031年5月期を最終年度とする中期経営計画を策定しました。テーマとして掲げた「Renovation Forward 31」は『三位一体』の意味を含め、マンションのリノベーションが当たり前になった今だからこそ、多様なステークホルダーの皆様と技術や経験を駆使しながら、顧客価値を創造し続ける、前進し続けるという想いを込めています。

中期経営計画においてホールディングスが注力するのは、“ヒト”“テクノロジー”“ファイナンス”の3つです。“ヒト”については、当社グループの持続的な成長には人的資本経営の推進が欠かせません。お客様のニーズに応えられる人材や業界の課題を解決できる人材を育成しつつ、必要に応じて外部パートナーと連携することで、新たな事業を創出していきます。

中期経営計画における注力テーマ

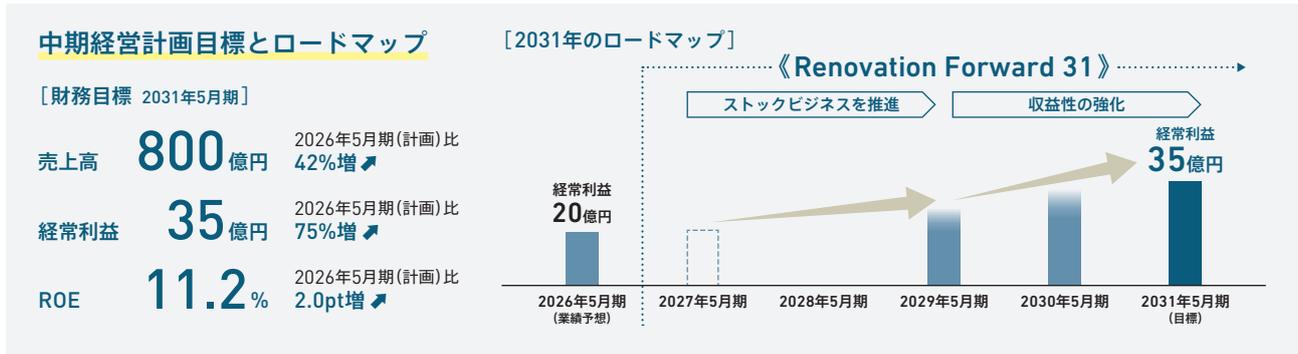


“テクノロジー”については、流通市場のDX化やリノベーションの設計技術開発に引き続き注力するとともに、データの活用を通じた適正価格での仕入れ、お客様の志向やニーズの分析による販売、事業期間の短縮化を推進していきます。

“ファイナンス”では、外部パートナーとの共創によって新たな住宅ローンの仕組みの構築を検討していきます。長期で物件価値の維持・向上が可能な高品質な物件に適用される新たな住宅ローンの仕組みを構築することで、リノベーションマンシ

ョン市場の信頼と利便性を高め、更なる市場拡大を図っていきます。一方、収益物件などで生み出したキャッシュをM&Aなどの成長投資につなげるなど、健全なバランスシート経営を推進していきます。

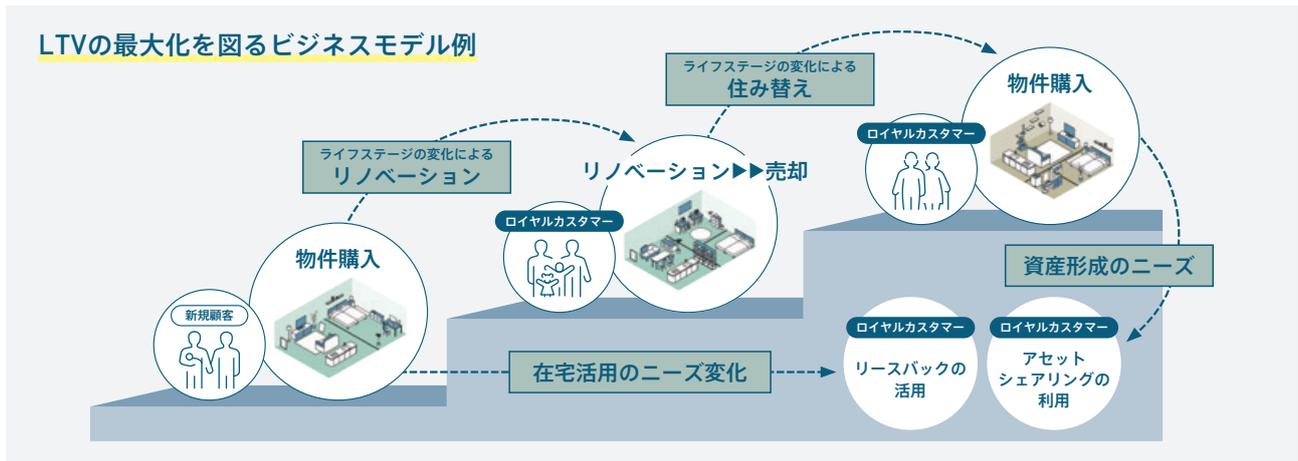
これらの取り組みによって、2031年5月期に売上高800億円、経常利益35億円、ROE11.2%の目標を達成し、配当性向30%前後を目安に安定した形で株主還元を実施していきます。



未来 グループビジョンのもとお客様のLTVを実現

ホールディングスとして再出発する当社ですが、グループビジョンである「すべての人にリノベーションで豊かな生活を」に変わりはありません。人の幸せの価値観が変わる中で、当社グループが提供したリノベーションマンションに住むお客様に寄り添うことが大切と考えています。お客様のライフステージの変化に合わせてリノベーションや住み替えをご提案し、不動産

の活用や資産形成の手段としてリースバックやアセットシェアリングなどのサービスをご案内するなど、多様なタッチポイントでお客様のロイヤルカスタマー化を図っていきます。売切りのビジネスからストック性の高いビジネスモデルをグループの総合力で構築していきます。その結果として、お客様のLife Time Value (顧客生涯価値)の最大化を実現していきます。



『三位一体』経営の推進に向けてグループ従業員と目的意識を共有

ホールディングス発足と中期経営計画策定に伴い、俊成社長自ら社内イベントでグループ従業員に向けて、メッセージを発信しました。メッセージでは、グループ会社・従業員が同じ方向、同じ目的を持って切磋琢磨しながらスピード感をもって経営していくことを伝え、グループビジョンである「すべての人にリノベーションで豊かな生活を」送れる社会の実現に向けて、グループ全社一丸となることを従業員と共有しました。



中期経営計画の詳細はこちら



PLUS TOPICS

「すべての人にリノベーションで豊かな生活を」。その理念の実現に向けたインテリックスグループの最近の取り組みやサービスを紹介します。

TOPIC 1

全国6カ所にて「インテリックス 30周年記念 感謝祭」開催

創立30周年を迎えた7/17、セルリアンタワー東急ホテルにて「インテリックス 30周年記念 感謝祭」を開催しました。仲介会社、金融機関、施工店など日頃お力添えいただいているの方々をお招きし、仙台、札幌、福岡、大阪、名古屋と各地域でも順次開催。俊成社長より感謝をお伝えするとともに、引き続きのご支援をお願いし、盛況のうちに閉会しました。

参加者は全国あわせて、2,000名超。地域の感謝祭では地産メニューの提供や球団チアガール等によるパフォーマンス、大抽選会等をお楽しみいただきました。



7.17 セルリアンタワー東急ホテル



10.2 ウェスティンホテル仙台

TOPIC 2

地方創生への取り組み。「インテリックス神戸みなと」誕生

昨年10月、兵庫エリアの不動産に精通した「神戸みなと興産」、「インテリックス」の共同出資により「インテリックス神戸みなと」を設立しました。2社の共創で、地域の既存住宅流通の活性化に努めてまいります。



In+elleX
株式会社 インテリックス神戸みなと



HPはこちら →

TOPIC 3

「ウッドワン空間デザインアワード2025」 ウッドワン賞受賞

日本を代表する建築家・伊東豊雄先生が審査委員長を務める「ウッドワン空間デザインアワード2025」。そのリフォーム・リノベーション部門において、インテリックス空間設計が施工したS様邸が受賞しました。



▲ 明るい木の風合いが特徴的な空間。
動線と収納にもこだわっている

事例はこちらから →



TOPIC 4

空気の質まで変える 空気循環システム〈エアフォームワン〉

省エネリノベーションの技術開発に取り組むリコシスでは、このたび花粉やPM2.5を99%除去*する「空気循環システム〈エアフォームワン〉」の販売を開始しました。小型でメンテナンス性に優れている点もポイントです。

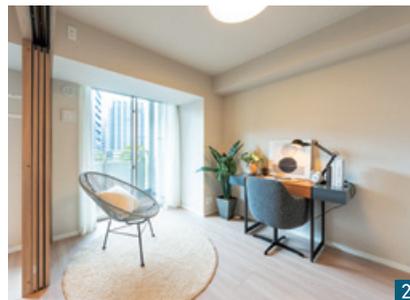
*0.1μm以下の微小粒子までも除去。ウイルス・真菌も91.5%除去。



◀ コンパクトなマンションにも
すっきりと収まる空気循環システム
〈エアフォームワン〉

製品紹介動画
公開中! →





- 1 内装はインテリアが映えるグレージュ系を基調に
- 2 「空気循環システム〈エアフォームワン〉」でキレイにした空気が各部屋に届けられる
- 3 最新の「空気循環システム〈エアフォームワン〉」。コンパクト設計で場所を取らない

住まいが「健康」をつくる時代

省エネ性能や良質な空気といった「目に見えない」快適性までこだわった住空間を提案するリノヴェックスマンション。東京のシーサイドエリアに建つ大規模タワーマンションにある本物件は、高性能エアコンや保温浴槽といった省エネ仕様の設備機器に加え「空気循環システム〈エアフォームワン〉」を新たに導入しています。

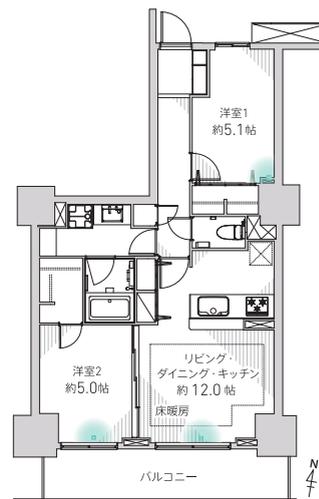
外気を室温に近づけて取り入れることで温度・湿度をコントロールする換気システムで、外気清浄機能により花粉やウイルス・PM2.5といった0.1μm以下の微小粒子までも除去。クリーンな空気環境で健康的な暮らしをサポートします。プランニングでは空間に広がりをもたせ、開放的に。家族みんなで安心して暮らせる住まいとなりました。

見える部分も、見えない部分も心地よく

コンパクトな専有面積を最大限に活かすべく、「空気循環システム〈エアフォームワン〉」の配管計画を工夫してスペースを確保し、キッチンもオープンタイプの対面式に。LDKの照明はダウンライトを採用するなど視覚的なゆとりにもこだわりました。

担当者：原 聖剛（株式会社インテリックス空間設計）

Plan



● = 空気循環システムでキレイにした空気を各部屋に届けます

Data

築年数	7年
間取り	2LDK+W
専有面積	58.44㎡
工事費	約1,520万円

Web contents

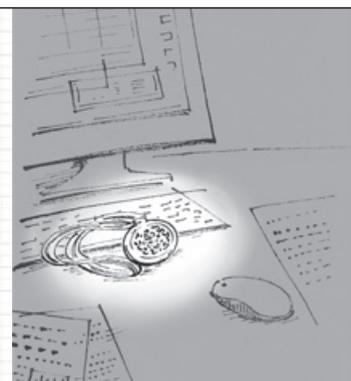


測るの物語

「名もなきメダル」

ミリ単位で徹底的に測り、豊かなスペースを生み出してきたインテリックス。「つくることは測ること」の精神は設計に限らず、あらゆる部門に共通しています。人に、コトに、モノに目を配り、快適な職場環境をつくるプロ・人事総務部の賀川部長もそのひとり。2,000名超が集まった大規模イベント「インテリックス 30周年記念 感謝祭」の成功の影にも、彼の姿がありました。

詳しくは
こちらから



数字で伝えるインテリックスホールディングス

※2025年11月末まではインテリックスの数値で算出しています。

当中間期の \ POINT /

\ POINT /

1 売上高

リノベーションマンション販売は都内を中心に販売価格が上昇し売上を大きく押し上げ、リノベーション内装事業は業容拡大し2割成長。収益物件の売却に加え、共同事業やホテル事業の寄与により売上高は前年同期比で33%の大幅増収

\ POINT /

2 営業利益

売上総利益は、リノベーション事業分野が24%増、ソリューション事業分野がほぼ前期水準を確保できたことで、前年同期比で12%増益。販管費の16%増を吸収し、営業利益は前年同期比で5%の増益

\ POINT /

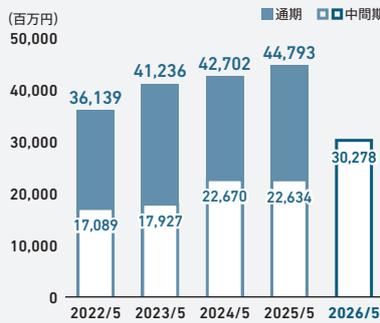
3 経常利益

業容拡大に向けた物件取得に伴う有利子負債の増加及び金利上昇により、営業外費用が51%と大幅に増加したことにより、経常利益は前年同期比で2%の減益

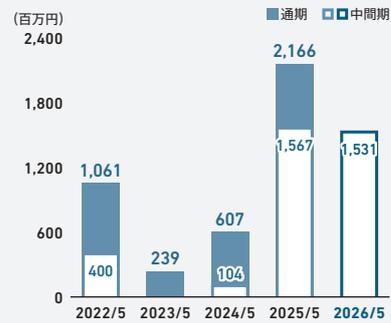
■ リノベーションマンション販売戸数



■ 売上高



■ 経常利益



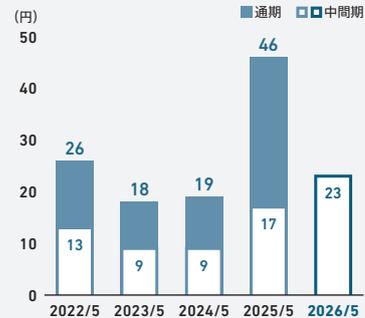
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



■ 自己資本比率



■ 1株当たり配当金



会社概要

会社名	株式会社インテリックスホールディングス
所在地	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町3-2 渋谷サクラステージ SAKURAタワー9階
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場(証券コード 463A)
資本金	4億13百万円
代表者	代表取締役社長 俊成 誠司
従業員数	連結304名(2025年11月30日現在)
事業内容	不動産売買、不動産賃貸業、不動産コンサルティングを営む グループ会社の経営管理及びこれに付帯する業務

グループ会社	株式会社インテリックス
	株式会社インテリックス空間設計
	株式会社インテリックスプロパティ
	株式会社FLIE
	株式会社リコシス
	株式会社TEI Japan
	株式会社再生住宅パートナー
	株式会社インテリックス神戸みなと

IRメール配信 登録受付中

当社の決算発表等のIR情報や、説明会・セミナー開催、
新商品・サービスのご案内をお送りしています。

ご登録はこちら▶

